

2016 年度会津大学新入生の生活と意識 1

－基礎集計－

菊地 則行・中澤 謙

I 問題と目的

本調査は、会津大学の教育・学生支援環境を点検・整備するための基礎資料を得るために、新入生の生活と意識、行動を分析することを目的としている。今回は、1998年、2000年、2002年、2004年、2006年、2008年、2010年、2012年、2014年に続く第10回目の調査である。

調査の主な関心は、会津大学の新入生が、会津大学へどのような過程で進学したか、学習面においてどのような意識・能力の特徴や経験を持った高校生だったのかを把握することである。

II 方法

質問紙調査法を用い、大学が行う新入生オリエンテーション時(2016年4月実施)に調査用紙を配布し、その場で記入を求め、回収した。なお、回答は無記名である。

対象者は、会津大新入生 240 名である。有効回答数は 236 名で、回答率は 98.3% である。

1. 基本的属性

(1)調査対象、(2)年齢、(3)性別構成、(4)出身高校、(5)出身高校の課程、(6)入学経路、(7)現在の住まい、(8)通学方法

2. 大学進学経過

(1)会津大学進学希望、(2)コンピュータ専攻希望、(3)会津大学受験条件、(4)コンピュータへの興味の始期、(5)コンピュータ専攻の決定時期、(6)コンピュータの知識、(7)受験決定時期、(8)センター試験受験科目、(9)未履修科目

3. 大学観、能力・興味

(1)大学観、(2)高校時代の得意・苦手科目、(3)得意なこと・学びたいこと

4. 進路

(1)卒業後の進路、(2)仕事の目標と職業

5. 健康

(1)不安・悩みの有無、(2)不安・悩みの種類、(3)喫煙の有無、(4)飲酒の有無、(5)体重のコントロール、(6)受動喫煙の害、(7)インターネット依存、(8)放射線等の心配、(9)放射線等の対策、(10)学生相談室及び保健室、(11)大学への要望

Ⅲ 調査結果

1. 基本的属性

(1) 対象者

本調査の回答率は 98.6%である。

		男性	女性	合計
在學生	人数	214	26	240
	性別の%	89.2%	10.8%	100.0%
標本	人数	211	25	236
	性別の%	89.4%	10.6%	100.0%
回答率		98.6%	96.2%	98.3%

(2) 年齢

新入生の平均年齢は 18.1 歳（標準偏差 0.43）である。

Q1 年齢 [] 歳

Q1

人数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
236	17	20	18.14	.428

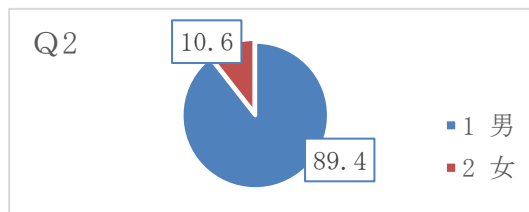
(3) 性別

Q2 性別 1 男 2 女

回答者 236 名中男性は 89.4%、女性が 10.6 %である。

Q2

	人数	%
1 男	211	89.4
2 女	25	10.6
合計	236	100.0



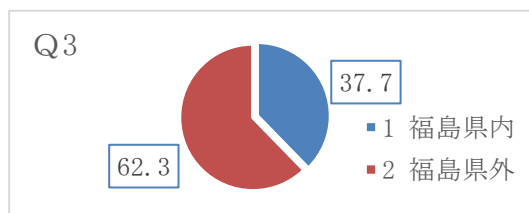
(4) 出身高校

出身高校の所在地は、福島県内が 37.7%、県外が 62.3%である。

Q3 出身高校の所在地 1 福島県内 2 福島県外

Q3

	人数	%
1 福島県内	89	37.7
2 福島県外	147	62.3



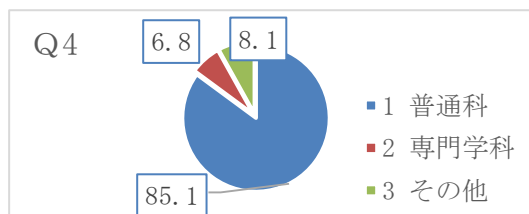
(5) 出身高校の課程

出身高校の課程は、普通科出身者が最も多く、85.1%である。

Q4 出身高校の課程 1 普通科 2 専門学科 3 その他 []

Q4

	人数	%
1 普通科	200	85.1
2 専門学科	16	6.8
3 その他	19	8.1
合計	235	100.0



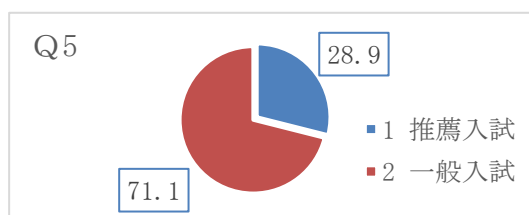
(6) 入学経路

入学経路は、推薦入試が 28.9%、一般入試が 71.1%である。

Q5 入学経路 1 推薦入試 2 一般入試

Q5

	人数	%
1 推薦入試	68	28.9
2 一般入試	167	71.1
合計	235	100.0



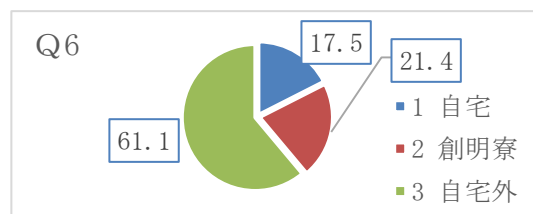
(7) 現在の住まい

現在の住まいは、自宅が 17.5%、創明寮が 21.4%、自宅外が 61.1%である。

Q6 現在の住まい 1 自宅 2 創明寮 3 自宅外

Q6

	人数	%
1 自宅	41	17.5
2 創明寮	50	21.4
3 自宅外	143	61.1
合計	234	100.0



(8) 通学方法

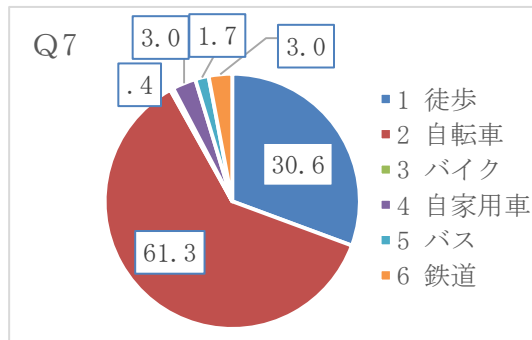
通学方法で最も多いのは、自転車の 61.3%、次に徒歩の 30.6%である。

Q7 主な通学方法（一つ選択）

- 1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自家用車 5 バス 6 鉄道

Q7

	人数	%
1 徒歩	72	30.6
2 自転車	144	61.3
3 バイク	1	.4
4 自家用車	7	3.0
5 バス	4	1.7
6 鉄道	7	3.0
合計	235	100.0



2. 大学進学経過

(1) 会津大学進学希望

会津大学への進学は、「おおいに希望通り」の学生が 41.9%、「どちらかといえば希望通り」の学生が 36.0%である。両者を合わせた 77.9%の学生が会津大学への進学は希望通りである。

Q8 会津大学進学は、希望通りのことですか。

- 5 おおいに希望通り 4 どちらかといえば希望通り 3 どちらともいえない
2 どちらかといえば希望通りではない 1 まったく希望通りではない

(2) コンピュータ専攻希望

コンピュータを専攻することが、「おおいに希望通り」の学生が 60.0%、「どちらかといえば希望通り」の学生が 23.0%である。両者合わせた 83.0%の学生がコンピュータを専攻することは希望通りのことである。

Q9 コンピュータを専攻することは、希望通りのことですか。

- 5 おおいに希望通り 4 どちらかといえば希望通り 3 どちらともいえない
2 どちらかといえば希望通りではない 1 まったく希望通りではない

Q8 進学希望

Q9 専攻希望

	人数	%	人数	%
1 まったく希望通りではない	7	3.0	4	1.7
2 どちらかといえば希望通りではない	13	5.5	7	3.0
3 どちらともいえない	32	13.6	29	12.3
4 どちらかといえば希望通り	85	36.0	54	23.0
5 大いに希望通り	99	41.9	141	60.0
合計	236	100.0	235	100.0

(3) 会津大学受験条件

会津大学を受験する際に考慮した条件として大きいのは、

「7 自分の興味・関心」(4.3)、「3 自分の成績のよい科目」(4.0)、「17 教育内容」(4.0)、「5 自分の好きな科目」(3.9)、「20 大学卒業後の自分の進路」(3.9)である。

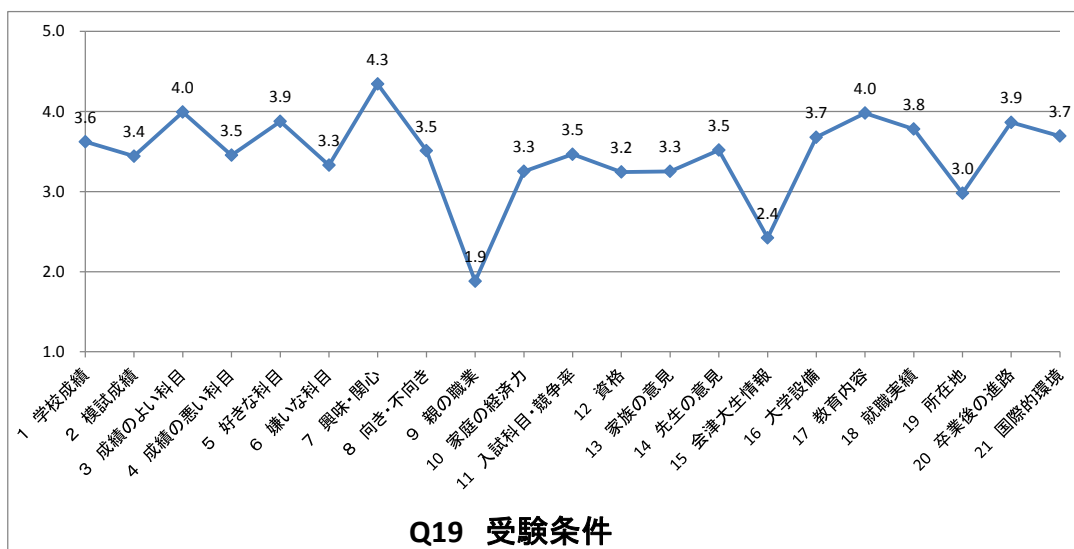
Q19 会津大学の受験を決めるときに、次のことをどれくらい考えに入れましたか。

- 5 とても考えに入れた 4 どちらかといえば考えに入れた 3 どちらともいえない
2 どちらかといえば考えに入れなかった 1 まったく考えに入れなかった

1 学校の成績	5	4	3	2	1
2 模試の成績	5	4	3	2	1
3 自分の成績のよい科目	5	4	3	2	1
4 自分の成績の悪い科目	5	4	3	2	1
5 自分の好きな科目	5	4	3	2	1
6 自分の嫌いな科目	5	4	3	2	1
7 自分の興味・関心	5	4	3	2	1
8 自分の性格の向き・不向き	5	4	3	2	1
9 親の職業	5	4	3	2	1
10 家庭の経済力	5	4	3	2	1
11 入試科目・競争率	5	4	3	2	1
12 資格を得る	5	4	3	2	1
13 家族の意見	5	4	3	2	1
14 先生の意見	5	4	3	2	1
15 会津大の学生からの情報	5	4	3	2	1
16 大学の設備	5	4	3	2	1
17 大学の教育内容	5	4	3	2	1
18 大学の就職実績	5	4	3	2	1
19 大学の所在地	5	4	3	2	1
20 大学卒業後の自分の進路	5	4	3	2	1
21 大学の国際的環境	5	4	3	2	1
22 その他 それは何ですか→					

Q19 受験条件

	平均値	標準偏差
1 学校成績	3.6	1.4
2 模試成績	3.4	1.5
3 成績のよい科目	4.0	1.2
4 成績の悪い科目	3.5	1.4
5 好きな科目	3.9	1.2
6 嫌いな科目	3.3	1.3
7 興味・関心	4.3	0.9
8 向き・不向き	3.5	1.2
9 親の職業	1.9	1.2
10 家庭の経済力	3.3	1.4
11 入試科目・競争率	3.5	1.3
12 資格	3.2	1.3
13 家族の意見	3.3	1.3
14 先生の意見	3.5	1.3
15 会津大生情報	2.4	1.3
16 大学設備	3.7	1.2
17 教育内容	4.0	1.0
18 就職実績	3.8	1.2
19 所在地	3.0	1.4
20 卒業後の進路	3.9	1.0
21 国際的環境	3.7	1.2



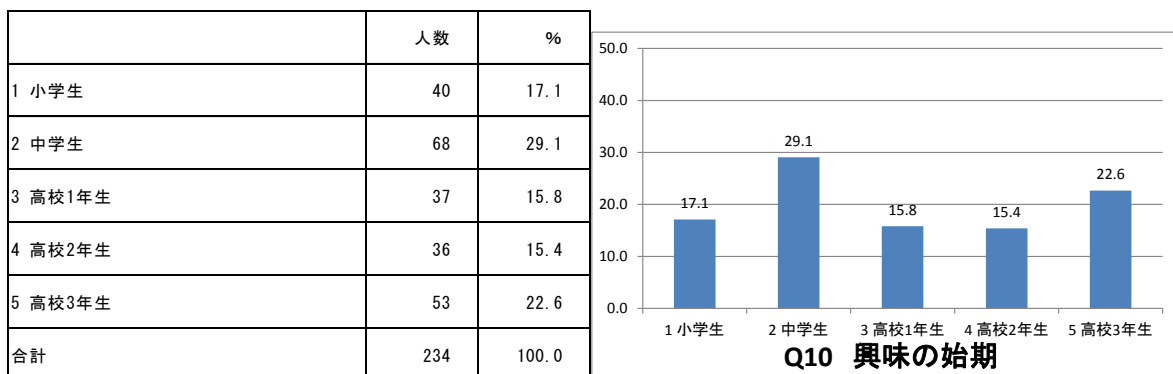
(4) コンピュータへの興味の始期

46.2%の者が中学時代までにコンピュータに興味を持ち始めている。高校時代では、3年生の時に興味を持ち始めた者が多い。

Q10 コンピュータに興味を持ち始めたのはいつごろですか。

- 1 小学生 2 中学生 3 高校1年生 4 高校2年生 5 高校3年生

Q10 コンピュータへの興味の始期



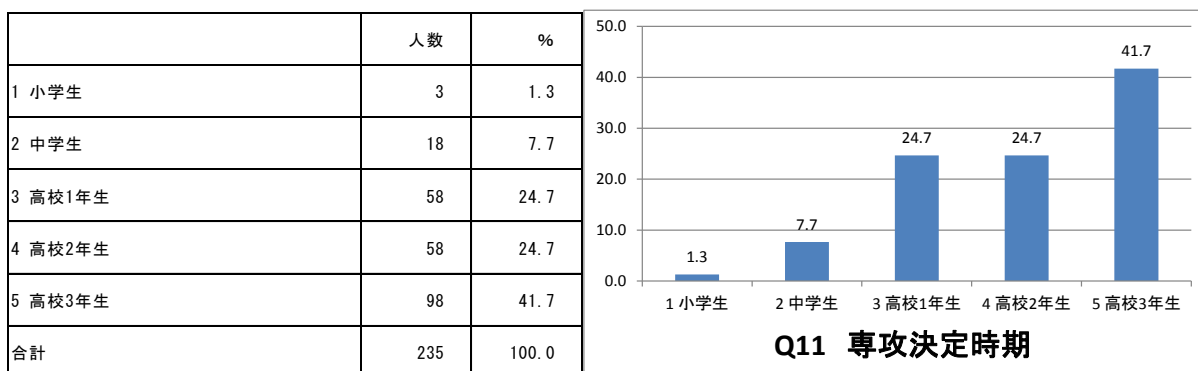
(5) コンピュータ専攻の決定時期

91.0%の者が高校時代に大学でコンピュータを勉強しようとしている。41.7%の者が高校3年生の時に専攻を決めている。

Q11 大学でコンピュータを勉強しようとしたのはいつごろですか。

- 1 小学生 2 中学生 3 高校1年生 4 高校2年生 5 高校3年生

Q11 コンピュータ専攻の決定時期



(6) コンピュータの知識

コンピュータの仕組みを知っている（「3 ある程度知っている」あるいは「2 少しは知っている」）者は、46.8%である。コンピュータ関連の仕事の内容を知っている者は、62.4%である。コンピュータが社会でどのように利用されているかを知っている者は、74.7%である。大学で行われるコンピュータの授業内容を知っている者は、39.7%である。

Q15 次のことをどの程度知っていますか。

- 1 コンピュータの仕組み
 - 3 ある程度知っている
 - 2 少しは知っている
 - 1 ほとんど知らない
- 2 コンピュータ関連の仕事の内容
 - 3 ある程度知っている
 - 2 少しは知っている
 - 1 ほとんど知らない
- 3 コンピュータが社会でどのように利用されているか
 - 3 ある程度知っている
 - 2 少しは知っている
 - 1 ほとんど知らない
- 4 大学で行われるコンピュータの授業内容
 - 3 ある程度知っている
 - 2 少しは知っている
 - 1 ほとんど知らない

Q15-1 仕組み

	人数	%
1 ほとんど知らない	124	53.2
2 少しは知っている	83	35.6
3 ある程度知っている	26	11.2
合計	233	100.0

Q15-2 仕事

	人数	%
1 ほとんど知らない	88	37.6
2 少しは知っている	123	52.6
3 ある程度知っている	23	9.8
合計	234	100.0

Q15-3 利用

Q15-4 授業

	人数	%		人数	%
1 ほとんど知らない	59	25.3	1 ほとんど知らない	141	60.3
2 少しは知っている	139	59.7	2 少しは知っている	81	34.6
3 ある程度知っている	35	15.0	3 ある程度知っている	12	5.1
合計	233	100.0	合計	234	100.0

(7) 受験決定時期

会津大学を受験することを決めた時期は、推薦入学者は高校1・2年生の時期と高校3年生の4月から11月までの時期がほぼ半々であり、一般入試入学者は高校3年生の1月が約半数である。

Q12 会津大学受験を決めたのはいつごろですか。

- 1 高校1・2年生 2 高校3年生の4月から11月の間 3 高校3年生の12月
4 高校3年生の1月 5 その他（それはいつですか）

Q12 受験決定時期(推薦)

Q12 受験決定時期(一般)

	人数	%		人数	%
1 高校1・2年生	31	45.6	1 高校1・2年生	21	12.6
2 高3の4-11月	33	48.5	2 高3の4-11月	29	17.4
3 高3の12月	1	1.5	3 高3の12月	14	8.4
4 高3の1月	1	1.5	4 高3の1月	93	55.7
5 その他	2	2.9	5 その他	10	6.0
合計	68	100.0	合計	167	100.0

(8) センター試験受験科目

センター試験を受験していない者は6.7%であり、ほとんどの者が何らかの教科を受験している。また、一般入試入学者の80.2%は5教科を受験している。

Q13 センター試験の受験教科は何でしたか。受験した教科に○をつけてください。

教科	含まれる科目
1 理科	物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、地学Ⅰ、理科総合A、理科総合B
2 数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B、工業数理基礎
3 外国語	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語
4 地理歴史・公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済
5 国語	国語
6 センター試験を受験していない	

Q13 センター試験受験科目

	人数	%		人数	%	
1 理科	215	93.1	一般入試入学者中の5教科受験者	一般入試入学者 167名	134	80.2
2 数学	207	89.6				
3 外国語	208	90.0				
4 地理歴史	164	71.0				
5 国語	175	75.8				
6 センター受験無	13	5.6				

(9) 未履修科目

高校時代に履修しなかった科目は、数学Ⅲが8.1%、物理が11.9%である。

Q18 高校時代に履修しなかったものがあれば、該当するものに○をつけてください。

- 1 数学Ⅰ 2 数学A 3 数学Ⅱ 4 数学B 5 数学Ⅲ 6 物理

Q18 高校時代未履修科目

	人数	%
1 数学Ⅰ	1	0.4
2 数学A	3	1.3
3 数学Ⅱ	2	0.8
4 数学B	6	2.5
5 数学Ⅲ	19	8.1
6 物理	28	11.9

3. 大学観、能力・興味

(1) 大学観

大学観尺度は、大学生が大学をどのような場だと認識しているかを表す尺度であり、次の5つの下位尺度から構成されている。

「出会いの場」尺度は、交友関係を広げたり、友人と交流したりするなど、人との出会いの場という大学観を表している。「消極的モラトリアムを過ごす場」尺度は、積極的にアイデンティティを確立しようという姿勢を持たないまま、社会に出るまでのモラトリアム期間を過ごす場という大学観を表している。「勉強の場」尺度は、新しい知識を求めたり、勉強したりするなど、勉強の場という大学観を表している。「自分探しの場」尺度は、自分のやりたいことや目標・夢、適性を見つける場という大学観を表している。「将来準備の場」尺度は、就職や将来の準備し、決定する場という大学観を表している。点数が高いほど尺度の内容の傾向が強いことを示す。各尺度得点は3点から15点の範囲になる。

新入生は、大学を「勉強の場」（平均値が13.7）、「将来準備の場」（13.2）、「出会いの場」（12.5）、「自分探しの場」（12.1）であるとしてとらえている。一方、「消極的モラトリアムを過ごす場」（8.4）であると、とらえているかについてはどちらともいえない。

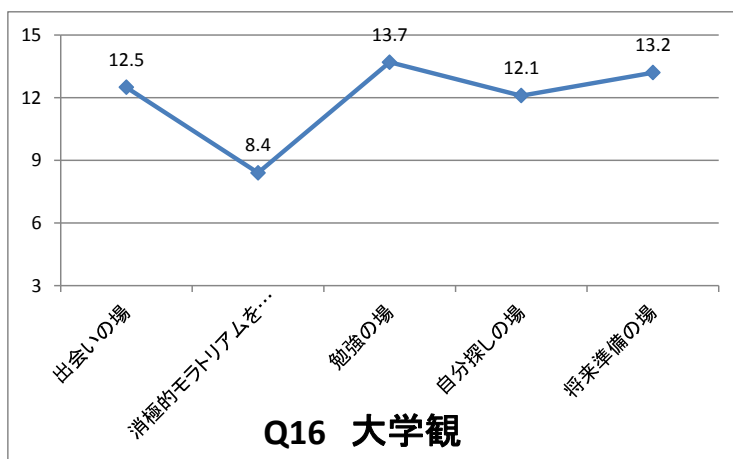
Q16 あなたにとって大学とはどんなところですか。

- 5 あてはまる 4 どちらかといえばあてはまる 3 どちらともいえない
2 どちらかといえばあてはまらない 1 あてはまらない

1 交友関係を広げる場所である。	5	4	3	2	1
2 社会へ出るための時間稼ぎをするところである。	5	4	3	2	1
3 就職のために準備する場所である。	5	4	3	2	1
4 就職するのに適さない時期に、自分の身分を保障してくれる場所である。	5	4	3	2	1
5 目標や夢を見つけるところである。	5	4	3	2	1
6 就職に必要なことを身につける場所である。	5	4	3	2	1
7 友達との交流の場である。	5	4	3	2	1
8 就職など人生を左右する将来を決める場所である。	5	4	3	2	1
9 自分探しをする場所である。	5	4	3	2	1
10 教養を身につけるところである。	5	4	3	2	1
11 人と知り合うための場所である。	5	4	3	2	1
12 勉強をするところである。	5	4	3	2	1
13 社会に出るまでの自由時間をすごすところである。	5	4	3	2	1
14 専門的な知識を学ぶところである。	5	4	3	2	1
15 自分の価値観を明確にする場所である。	5	4	3	2	1
16 よい成績で卒業するところである。	5	4	3	2	1

Q16 大学観

下位尺度名	平均値	尺度構成項目
	(標準偏差)	
出会いの場	12.5 (2.2)	1 交友関係を広げる場所である。
		7 友達との交流の場である。
		11 人と知り合うための場所である。
消極的モラトリアムを過ごす場	8.4 (2.8)	2 社会へ出るための時間稼ぎをするところである。
		4 就職するのに適さない時期に、自分の身分を保障してくれる場所である。
		13 社会に出るまでの自由時間をすごすところである。
勉強の場	13.7 (1.6)	10 教養を身につけるところである。
		12 勉強をするところである。
		14 専門的な知識を学ぶところである。
自分探しの場	12.1 (2.0)	5 目標や夢を見つけるところである。
		9 自分探しをする場所である。
		15 自分の価値観を明確にする場所である。
将来準備の場	13.2 (1.9)	3 就職のために準備する場所である。
		6 就職に必要なことを身につける場所である。
		8 就職など人生を左右する将来を決める場所である。



(2) 高校時代の得意・苦手科目

高校時代に得意な科目として多くの者があげているのは、数学(77.1%)、英語(35.1%)、物理(42.9%)である。逆に、苦手な科目として多くの者があげているのは、国語(52.0%)、英語(40.6%)、化学(41.0%)である。

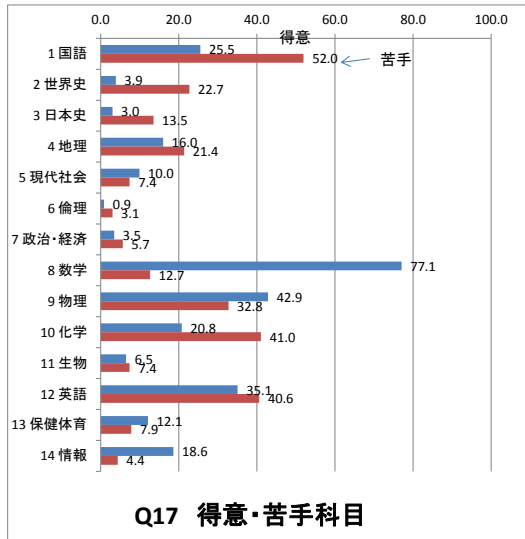
Q17 高校時代の学習について教えてください。次の質問にあてはまる科目の番号を、上位3つまで回答してください。

- 1) 得意な科目は何でしたか [] [] []
 2) 苦手な科目は何でしたか [] [] []

- 01 国語(古典・漢文を除く) 02 世界史 03 日本史 04 地理 05 現代社会 06 倫理
 07 政治・経済 08 数学 09 物理 10 化学 11 生物 12 英語 13 保健体育
 14 情報

Q17 得意・苦手科目

	得意科目		苦手科目	
	人数	%	人数	%
1 国語	59	25.5	119	52.0
2 世界史	9	3.9	52	22.7
3 日本史	7	3.0	31	13.5
4 地理	37	16.0	49	21.4
5 現代社会	23	10.0	17	7.4
6 倫理	2	0.9	7	3.1
7 政治・経済	8	3.5	13	5.7
8 数学	178	77.1	29	12.7
9 物理	99	42.9	75	32.8
10 化学	48	20.8	94	41.0
11 生物	15	6.5	17	7.4
12 英語	81	35.1	93	40.6
13 保健体育	28	12.1	18	7.9
14 情報	43	18.6	10	4.4



(3) 得意なこと・学びたいこと

得意意識は全般的に高くないが、「4 知りたいことを調べること」(3.9)、「本を読むこと」(3.5)が相対的に高い。逆に、苦手意識があるのは、「1 文章を書くこと」(2.7)である。

すべての項目が、大学で勉強したいこととされているが、とりわけ「3 筋道を立てて考えること」(2.8)、「4 知りたいことを調べること」(2.7)、「5 自分の意見を述べること」(2.8)、「6 人と協力して何かをやること」(2.7)が高くなっている。

Q20 (a) 次のことはどのくらい得意ですか。(b) また、そのことを身につけるための勉強を大学でしたいですか。

(a) 5 得意 4 どちらかといえば得意 3 どちらともいえない 2 どちらかといえば苦手 1 苦手

(b) ③ 勉強したい ②どちらともいえない ① 勉強したくない

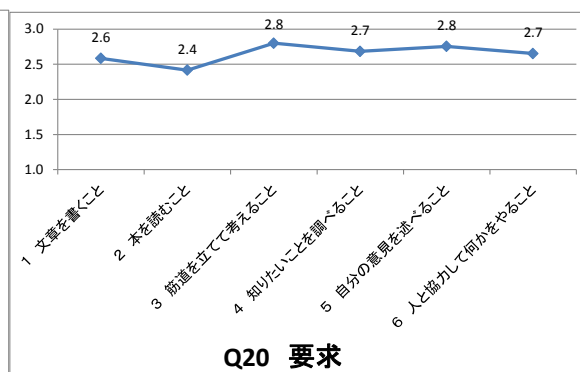
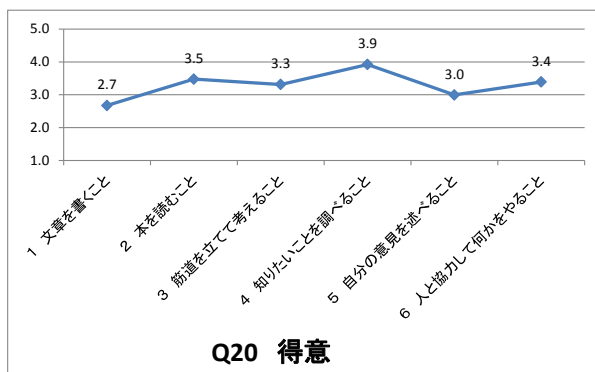
1 文章を書くこと	(a) 5	4	3	2	1	(b) ③	②	①
2 本を読むこと	(a) 5	4	3	2	1	(b) ③	②	①
3 筋道を立てて考えること	(a) 5	4	3	2	1	(b) ③	②	①
4 知りたいことを調べること	(a) 5	4	3	2	1	(b) ③	②	①
5 自分の意見を述べること	(a) 5	4	3	2	1	(b) ③	②	①
6 人と協力して何かをやること	(a) 5	4	3	2	1	(b) ③	②	①

Q20 得意	文章を書く		本を読む		筋道を立てて考える		調べる		意見を述べる		人と協力する	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 苦手	40	17.4	19	8.2	12	5.2	3	1.3	22	9.6	16	7.0
2 どちらかといえば苦手	59	25.7	22	9.5	34	14.8	5	2.2	61	26.8	29	12.6
3 どちらともいえない	80	34.8	69	29.9	79	34.5	59	25.7	66	28.9	69	30.0
4 どちらかといえば得意	38	16.5	72	31.2	78	34.1	103	44.8	54	23.7	81	35.2
5 得意	13	5.7	49	21.2	26	11.4	60	26.1	25	11.0	35	15.2
合計	230	100.0	231	100.0	229	100.0	230	100.0	228	100.0	230	100.0

Q20 学習要求	文章を書く		本を読む		筋道を立てて考える		調べる		意見を述べる		人と協力する	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 勉強したくない	13	6.2	10	4.8	1	.5	4	1.9	2	1.0	5	2.4
2 どちらともいえない	61	29.2	102	48.8	48	23.3	58	27.9	47	22.7	62	30.0
3 勉強したい	135	64.6	97	46.4	157	76.2	146	70.2	158	76.3	140	67.6
合計	209	100.0	209	100.0	206	100.0	208	100.0	207	100.0	207	100.0

Q20 得意・要求

	得意		要求	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差
1 文章を書くこと	2.7	1.1	2.6	0.6
2 本を読むこと	3.5	1.2	2.4	0.6
3 筋道を立てて考えること	3.3	1.0	2.8	0.5
4 知りたいことを調べること	3.9	0.8	2.7	0.5
5 自分の意見を述べること	3.0	1.2	2.8	0.5
6 人と協力して何かをやること	3.4	1.1	2.7	0.5



(2) 仕事の目標と職業

職業（たとえば、システムエンジニア、プログラマー）は、仕事の目標（たとえば、能力を発揮したい、高い収入を得たい）を実現・表現するための手段である。両者が適切に対応している関係が望ましい。たとえば、専門の能力を発揮するという仕事の目標を実現するうえで〇〇という職業は適切である、というようにである。

選択肢1に答えた者を、仕事の目標もその目標にふさわしい職業もはっきりしているタイプ（「目標明確・職業明確」と呼ぶ）とする。

選択肢2に答えた者を、仕事の目標ははっきりしているが、その目標にふさわしい職業ははっきりしていないタイプ（「目標明確・職業不明確」）とする。

選択肢3に答えた者を、仕事の目標ははっきりしていないが、希望する職業ははっきりしているタイプ（「目標不明確・職業明確」）とする。

選択肢4に答えた者を、仕事の目標も、希望する職業もはっきりしていないタイプ（「目標不明確・職業不明確」）とする。

「目標明確・職業不明確」タイプ（40.2%）と「目標不明確・職業不明確」タイプ（22.7%）が多く、希望する職業がはっきりしていない者が多い。

仕事の目標を持っているかどうか注目すれば、目標を持っている「目標明確・職業明確」タイプと「目標明確・職業不明確」タイプの合計は58.5%であり、目標を持っているタイプと持っていないタイプの割合はほぼ同じである。

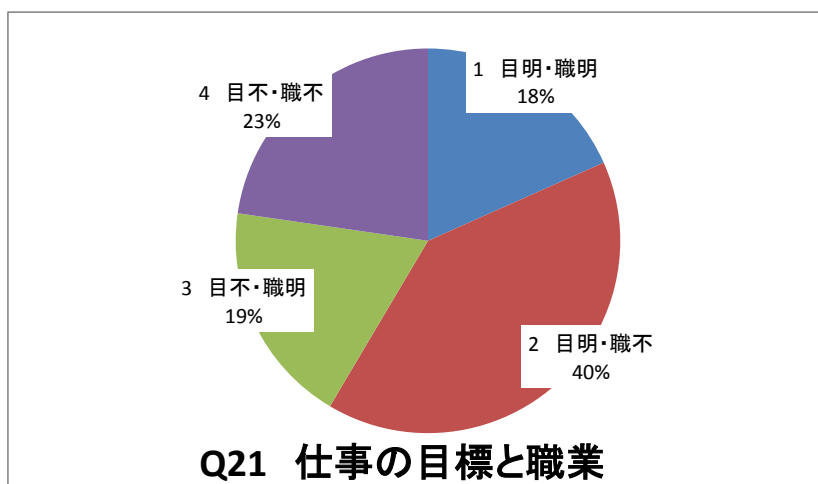
目標にふさわしい職業がはっきりしているかどうか注目すれば、職業がはっきりしている「目標明確・職業明確」タイプと「目標不明確・職業明確」タイプの合計は37.1%であり、職業がはっきりしているタイプは少ない。

Q21 仕事の目標（たとえば、能力を発揮したい、高い収入を得たい）と**職業**（たとえば、システムエンジニア、プログラマー）について、現在のあなたに近いのは次のどれですか。

- 1 仕事の目標にしたいことがはっきりしており、その目標を実現するのにふさわしい職業もはっきりしている。
- 2 仕事の目標にしたいことははっきりしているが、その目標を実現するのにふさわしい職業がはっきりしていない。
- 3 希望する職業ははっきりしているが、仕事の目標がはっきりしていない。
- 4 仕事の目標も 希望する職業もはっきりしていない。

Q21 仕事の目標と職業

	人数	%
1 目明・職明	42	18.3
2 目明・職不	92	40.2
3 目不・職明	43	18.8
4 目不・職不	52	22.7
合計	229	100.0



5. 健康

(1) 不安・悩みの有無

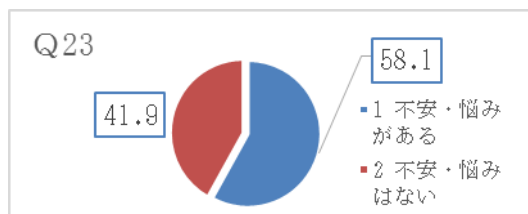
不安や悩みのある学生は全体の 58.1%である。

Q23 不安や悩みがありますか。

- 1 不安・悩みがある 2 不安・悩みはない (Q25へ)

Q23

	人数	%
1 不安・悩みがある	133	58.1
2 不安・悩みはない	96	41.9
合計	229	100.0



(2) 不安・悩みの種類

不安や悩みの種類で3割を超えるのは「01 学業」(77.7%)、「07 友人等の対人関係」(50.0%)、「06 就職や将来の進路」(39.2%)、次いで「03 性格・能力」(22.3%)、「10 経済問題」(22.3%)である。

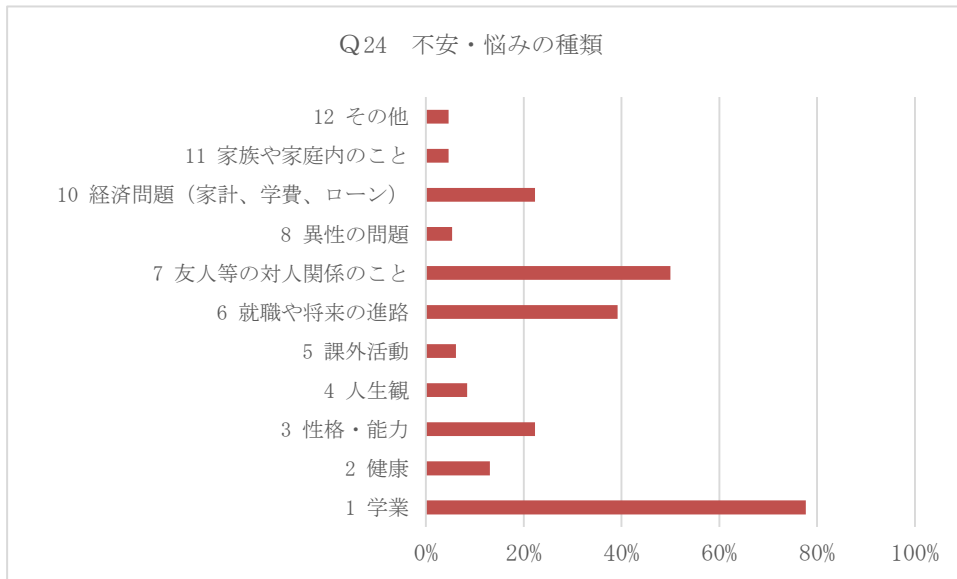
Q24 それほどどのような不安・悩みですか。次のものから3つまで選んでください。

[] [] []

- 01 学業 02 健康 03 性格・能力 04 人生観 05 課外活動 06 就職や将来の進路
 07 友人等の対人関係のこと 08 異性の問題 09 性の問題 10 経済問題 (家計、学費、ローン)
 11 家族や家庭内のこと 12 その他 []

Q24 不安・悩みの種類

	人数	%
1 学業	101	77.7%
2 健康	17	13.1%
3 性格・能力	29	22.3%
4 人生観	11	8.5%
5 課外活動	8	6.2%
6 就職や将来の進路	51	39.2%
7 友人等の対人関係のこと	65	50.0%
8 異性の問題	7	5.4%
10 経済問題 (家計、学費、ローン)	29	22.3%
11 家族や家庭内のこと	6	4.6%
12 その他	6	4.6%
合計	330	253.8%



(3) 喫煙の有無

新入生全員が非喫煙者である。

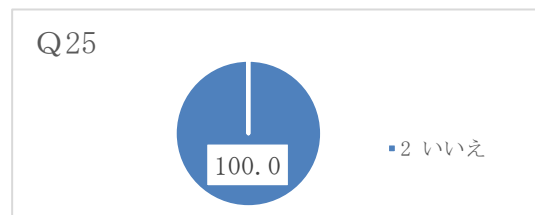
Q25 喫煙はしますか。

1 はい

2 いいえ

Q25

	人数	%
2 いいえ	231	100.0



(4) 飲酒の有無

99.6%の新入生は飲酒をしない。

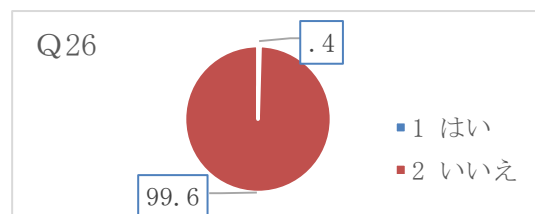
Q26 飲酒はしますか。

1 はい

2 いいえ

Q26

	人数	%
1 はい	1	.4
2 いいえ	230	99.6
合計	231	100.0



(5) 体重のコントロール

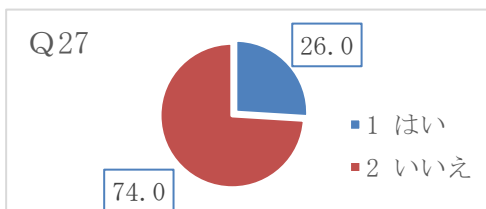
体重のコントロールをしている学生は全体の26.0%である。

Q27 自分の体重を認識し、意識的に体重コントロールを実践していますか。

- 1 はい 2 いいえ

Q27

	人数	%
1 はい	60	26.0
2 いいえ	171	74.0
合計	231	100.0



(6) 受動喫煙の害

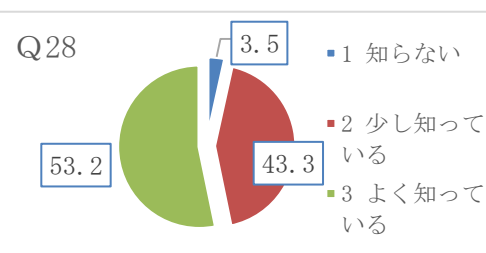
全体の96.5%の学生が受動喫煙の害を認識している。

Q28 受動喫煙の害について知っていますか。

- 3 よく知っている 2 少し知っている 1 知らない

Q28

	人数	%
1 知らない	8	3.5
2 少し知っている	100	43.3
3 よく知っている	123	53.2
合計	231	100.0



(7) インターネット依存

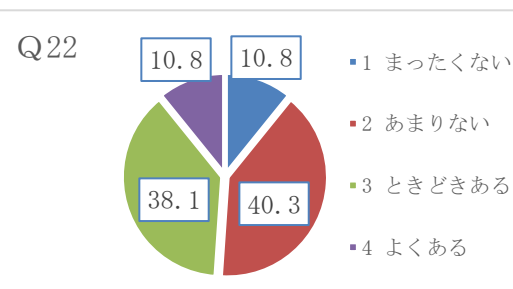
「よくある」「ときどきある」と答えたネット依存傾向にある学生は全体の48.9%である。

Q22 PC・携帯でインターネットに接続する時間が長くなり、日常生活に支障が出てきても、ネットから離れにくいということがありますか。

- 4 よくある 3 ときどきある 2 あまりない 1 まったくない

Q22

	人数	%
1 まったくない	25	10.8
2 あまりない	93	40.3
3 ときどきある	88	38.1
4 よくある	25	10.8
合計	231	100.0



(8)放射線等の心配

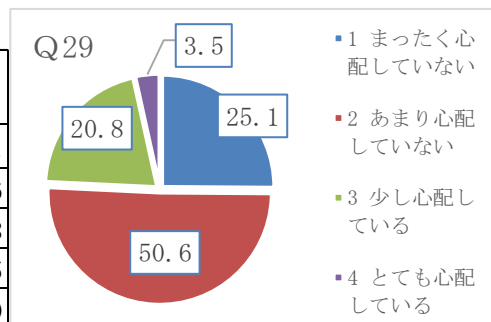
「とても心配している」「少し心配している」と答えた学生は全体の24.3%である。

Q29 放射線等について、心配はありますか。

- 4 とても心配している 3 少し心配している 2 あまり心配していない 1 まったく心配していない

Q29

	人数	%
1 まったく心配していない	58	25.1
2 あまり心配していない	117	50.6
3 少し心配している	48	20.8
4 とても心配している	8	3.5
合計	231	100.0



(9)放射線等の対策

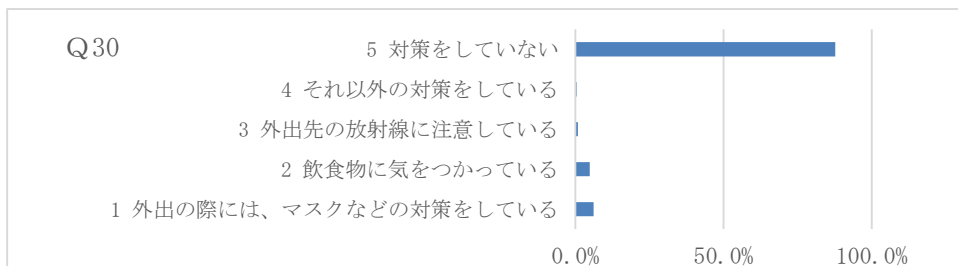
全体の87.7%の学生は「対策をしていない」

Q30 放射線等の対策をしていますか。該当するものすべてに丸をつけてください。

- 1 外出の際には、マスクの着用などの対策をしている
- 2 飲食物に気を使っている
- 3 外出先の放射線量に注意している
- 4 それ以外の対策をしている → ()
- 5 対策をしていない

Q30

	人数	%
1 外出の際には、マスクなどの対策をしている	14	6.1%
2 飲食物に気を使っている	11	4.8%
3 外出先の放射線に注意している	2	.9%
4 それ以外の対策をしている	1	.4%
5 対策をしていない	200	87.7%
合計	228	100.0%



(10) 学生相談室及び保健室

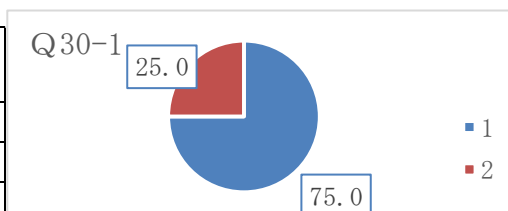
- 25.0%の学生は、困った時に相談する人がいない。
- 70.7%の学生は、何かあったら相談室を利用しようと思っている。
- 74.7%の学生は、自己・他者理解を深めるグループプログラムに興味がある。
- 91.3%の学生は、保健室の存在を知っている。
- 45.4%の学生は、体組成計を利用した健康管理を希望している。

31 会津大学の学生相談室及び保健室について回答してください。

1	困ったときに相談する人はいますか	1 はい 2 いいえ
2	何かあったら相談室に行ってみようと思いますか	1 はい 2 いいえ
3	話しあいを通じて自分のコミュニケーションスタイルを学んだり、自己理解・他者理解を深めたりすることを目的としたグループ・プログラムに興味がありますか	1 はい 2 いいえ
4	保健室があることを知っていますか	1 はい 2 いいえ
5	保健室の体組成計を使って、意識的に健康管理をしたいと思いますか	1 はい 2 いいえ

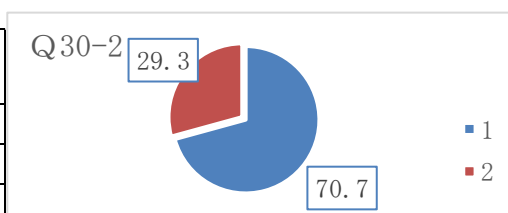
Q30-1

	人数	%
1	171	75.0
2	57	25.0
合計	228	100.0



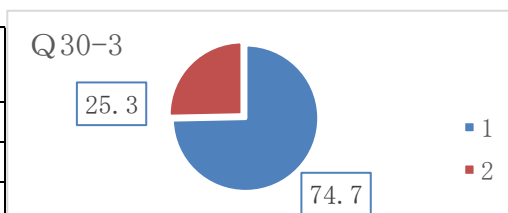
Q30-2

	人数	%
1	162	70.7
2	67	29.3
合計	229	100.0



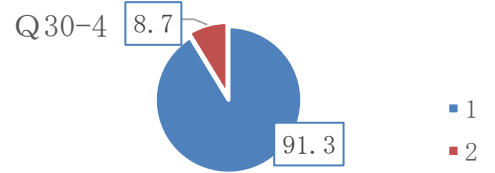
Q30-3

	人数	%
1	171	74.7
2	58	25.3
合計	229	100.0



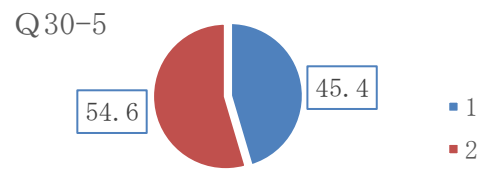
Q30-4

	人数	%
1	209	91.3
2	20	8.7
合計	229	100.0



Q30-5

	人数	%
1	104	45.4
2	125	54.6
合計	229	100.0



引用・参考文献

- ベネッセ教育総研 2001 報告書「学生満足度と大学教育の問題」
- 菊地 則行 2000 98 年度会津大学生の生活と意識 2－クロス集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第6号 61-79
- 菊地 則行 2002 2000 年度会津大学生の生活と意識 2－クロス集計：学習生活の違いによる分析－ 会津大学文化研究センター研究年報 第8号 23-47
- 菊地 則行 2004 2002 年度会津大学生の生活と意識 2－クロス集計：学習スタイルの違いによる分析－ 会津大学文化研究センター研究年報 第10号 39-61
- 菊地 則行・中澤 謙 1999 98 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第5号 61-79 報 第6号 37-89
- 菊地 則行・中澤 謙 2001 2000 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第7号 63-86 会津大学文化研究センター研究年報 第8号 23-47
- 菊地 則行・中澤 謙 2003 2002 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第9号 133-174
- 菊地 則行・中澤 謙 2005 2004 年度会津大新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第11号 33-50
- 菊地 則行・中澤 謙 2007 2006 年度会津大生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第13号 97-137
- 菊地 則行・中澤 謙 2009 2008 年度会津大新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第15号 53-71
- 菊地 則行・中澤 謙 2011 2010 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第17号 91-137
- 菊地 則行・中澤 謙 2013 2012 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第19号 109-132
- 菊地 則行・中澤 謙 2015 2014 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第21号 137-188
- 溝上 慎一 2001 大学生の自己と生き方－大学生固有の意味世界に迫る大学生心理学－ ナカニシヤ
- 溝上 慎一 2002 大学生論－戦後大学生論の系譜をふまえて－ ナカニシヤ
- 溝上 慎一 2004 現代大学生論－ユニバーシティ・ブルーの風に揺れる－ NHK ブックス
- 中澤 謙・菊地 則行 1999 98 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第5号 81-111
- 中澤 謙・菊地 則行 2001 2000 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第7号 87-136
- 中澤 謙・菊地 則行 2003 2002 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第9号 113-131
- 中澤 謙・菊地 則行 2005 2004 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第11号 51-92
- 中澤 謙・菊地 則行 2007 2006 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第13号 139-157

中澤 謙・菊地 則行 2009 2008 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 15 号 73-113

中澤 謙・菊地 則行 2011 2010 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 17 号 69-90

中澤 謙・菊地 則行 2013 2012 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 19 号 133-193

中澤 謙・菊地 則行 2015 2014 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 21 号 111-134

日本私立大学連盟 1992 キャンパスライフこの 20 年 開成出版

日本私立大学連盟 1995 第 9 回学生生活実態調査報告書

執筆分担

I, II 菊地・中澤

III-1, 5 中澤

III-2, 3, 4 菊地

本報告書は、会津大学学生支援委員会が行った調査を菊地と中澤がまとめたものである。